

令和5年度姫路市提案型協働事業 採択団体・事業一覧

テーマ種別	事業名称	団体名	事業計画概要
1 テーマ1	姫路城世界遺産登録30周年記念事業「ワクワクは、天・空・奏・想（そら）にある」～SDGs2023 温故知新 learning new from the past～	一般社団法人 Social Eight	姫路城・世界遺産登録30周年記念事業にともない、「古き良き時代を振り返る」「その良き価値を探索していく」「次世代・未来に守り伝えていく」「想いを描いていく」「想いを奏でる」ことで、姫路の価値創造に向けて「観光」視点で取り組む。
2 自由	地域で取り組む国際理解・国際交流～外国にルーツを持つ子供達を核とする多文化共生の地域づくり～	姫コアネット5	「知ろう、学ぼう、そして楽しもう！～外国にルーツを持つ子供達の背景・実態・支援～」を重点テーマに、次の3つのことをねらいとして活動する。 1 外国人の子供達の現実と背景について「知ること」「学ぶこと」に重点を置き、これまでの活動のあり方を検討すると共に、学校・地域・関係機関等との連携を密にして、さらに支援の輪を広げていくこと。 2 これまでの実績をもとに、外国人の子供達の自尊感情を高め、アイデンティティの確立を促し、将来の夢に向けて希望を膨らませる環境や支援活動を創り出すこと。 3 彼らが育つ地域社会で心が通い合う国際交流を通して、地域のみんなが未来に夢や希望を持って生き生きと暮らせる多文化共生の「地域づくり」の機運を醸成する。
3 自由	「和太鼓体験企画」第1回 集まれ！音ともだち「ありがとう！歌のこころ、和のこころ」	ほのぼのさん	昨年、支援を必要とする児童は多数いる。そこで、音楽が苦手な子供でも、誰でもすぐにリズムを刻んだり、叩いたりできる太鼓に焦点をあててみた。4回の和太鼓体験を軸に、歌とダンスでステージを作る。未来を担う子供達に、和のこころを感じ、そして演奏する。和の音楽と洋の音楽の融合を体感することで、多世代交流と新しい音楽の扉を子供達が開けるきっかけになるのが狙い。
4 自由	地産地消ひめじバル復活祭	赤ちょうちん屋台の会	「地産地消ひめじバル」イベントの円滑な運営を通じて、姫路市民や市外観光客が中心市街地で食べ歩き・飲み歩きしながら、姫路市のまちを楽しみ、その魅力を再発見することを目的とする。このイベントにより、姫路市内の中心市街地の活性化と観光客誘致に寄与し、姫路市の食材と酒を中心とした料飲を提供し、地域の特徴を発揮することをコンセプトとし、他地域のバルイベントとの差別化を図る。
5 テーマ1	「千姫の小径」ライトアップ事業	特定非営利活動法人あかりの街ひめじ	「千姫の小径」。素敵な名称。「千姫」を知らなくても、言葉から魅力を想像させる。この小径は、桜の並木で、花の頃はもちろん夏も秋も趣がある。姫路城世界遺産登録30周年記念を機に、この通りを地域の宝とし、一層大勢の方に楽しんでいただくとうと企画したものである。観光資源としてやや認知の薄い「千姫の小径」を、姫路城世界遺産30周年記念事業の一翼として光を当て、この道の安全・安心と認知度の向上、千姫神社、男山等とともに地域の宝物という住民意識の高揚を図り、観光客の増大、大河ドラマ採用への支援、商業施設の誘致による地域経済の振興を図る。
6 地域資源	「ふるさとの道」調査事業	香寺歴史研究会	香寺町内にはかつての生野街道や八徳道などの歴史街道の名残があり、また、牛飼道など生活に根ざした道があった。これらは時代と共に失われ或いは付け替えられ、人々の記憶から忘れ去られようとしている。そこで、これらの道（或は道跡）をたどり地図上に復元したい。同時に道沿いの文化財等についても調査し記録に残し後世に伝える。
7 テーマ1	町家・古民家で感じる姫路の歴史、楽しむ姫路の食文化プロジェクト～姫路の生きた歴史・文化・魅力を城周辺の町家・古民家再生で体感しよう～	シェフネットひめじ	町家・古民家を活用した事業に関心のある市民と協働し、城周辺の町家・古民家を活用し1日限定の食事提供と音楽ライブを行う。食事は地元一流シェフが地元食材をふんだんに活用したランチを出展調理し、同時に地元アーティストによる音楽ライブを行うことで、今後ますます増加が見込まれる国内外の観光客に向け、まちの歴史を感じながら音楽とともに食文化を楽しめる新たな観光コンテンツの創出を目指す。
8 地域資源	全市エリアミュージアム化構想Ⅰ「香寺まるごとエリアミュージアム」	特定非営利活動法人スローソサエティ協会	これまでの「城の西」でのエリアマネジメントを発展させ、中学校区をそれぞれ歴史・自然・暮らし・アートのミュージアムに見立てて循環型のまちを再編集する。今回は姫路市北部に位置する香寺町エリアを対象に、フィールドミュージアムとしてのブランディングをはかる。また姫路城からすこし足を延ばした旅行先として、観光資源としてのエリアの魅力外国人を含めた観光客に知ってもらう。
9 テーマ2	町家等調査（姫路城下町西部地区）	姫路・町家再生塾	姫路旧城下町西部（船場、城西、男山南部）を対象地区として、現存する町家・古民家（以下「町家等」という。）を悉皆的に調査し、町家等の賦存状況を把握するとともに、所有者へのインタビューにより未活用の町家等の活用意向を把握する。調査結果は、市役所担当部局と共有し、政策の企画立案に活用していただく他、個人情報の取扱いに配慮しつつ概要を公開し、町家等の流通・活用の機運醸成のために活用する。
10 自由	オリヒメプロジェクト～ノーマライゼーションな姫路を目指して～	オリヒメプロジェクト実行委員会	昨年度、オリヒメプロジェクト（以下、前事業）にて、障害者や社会的孤立者を孤独から救うことを目的に開発された分身ロボット「OriHime」を用いて様々なイベント活動を実施した。それにより、OriHimeが障害当事者やひきこもりの方などの社会進出をサポートするための重要なツールであることが示された。そこで、本事業では、障害を持たれた方がOriHimeを用いて実際に企業で一日就労したり、引きこもりの方がOriHimeを用いて学校等の授業へ参加するということを実現させることで社会進出へのモデル事業を作りたいという想いで提案した。
11 地域資源	旧市のきさき朝市	旧市のきさき朝市運営委員会	姫路駅西エリア（旧卸売市場）で朝市を開催し、旧市場や新規店舗、出店者の店主同士やお客さんが話さきっかけをつくることで、店主の人となり・魅力を伝え、ファンをつくる。そして、姫路駅西エリアへの人の流れを促すことで地域の活性化を目指す。また、コンビニやスーパーとは違った顔が見える交流、商売を行ってきた卸売市場に由来した文化を継承していく。
12 地域資源	姫路駅西空き家資源活用プロジェクト	姫路駅西地区まちづくり協議会	姫路市内の空き家、空き店舗を減らすためのイベント企画・運営、また空き家、空き店舗相談会を実施することで空き家、空き店舗活用のモデルをつくる。
13 新規	はなまる元気塾 ～楽しく健康寿命を延ばそう～	はなまる元気塾	超高齢社会の到来と共に問題となる認知症対策を、学習療法により地域サロン等で推進する。認知症は生活習慣によって遅らせることができる。ひとりでも多くの人が学習療法をやることで、楽しく健康寿命を延ばせるようにしたい。
14 新規	こどものASOBIBAひめじ基地	旧モノレールあそび場制作委員会	駅西エリアの遊休不動産を活用し、イベントやワークショップを通して子供達にとって自ら自由に遊び、体験できる場所の提供と、同じ想いを持った親子の出会いの場を創出する。
15 新規	こどもまんなか子育て推進事業	子育てサロン KonoKono	1994年に日本が子どもの権利条約を批准してから29年経ち、2023年4月にはこども家庭庁が発足した。しかし、子どもの権利条約やこどもまんなかな考え方は、まだ子育ての現場に十分に浸透していない現状がある。本事業では、子どもと共に子どもの権利について楽しく学べる場を設けて、子どもの権利条約の周知を図り理解を深め、こどもまんなかな子育てを推進する。

※テーマ1：姫路城世界遺産登録30周年記念事業、テーマ2：町家・古民家の流通を促進する事業